

**塩竈市のまちづくりに関する  
企業アンケート結果**

**報告書**

**令和7年12月**

**塩 竈 市**



## <目次>

序 アンケート調査の概要.....	1
問1-1 業種について.....	2
問1-2 従業員数について.....	3
問1-3 外国人就労者の割合.....	4
問1-4 直近の3年間の売上高の動向.....	5
問1-5 経営上の課題.....	6
問1-6 地域特性のメリット.....	7
問1-7 地域特性のデメリット.....	8
問2-1 地域経済の活性化について.....	9
問2-2 行政が取り組むべき分野.....	12
問3-1 現在の労働力の過不足状況.....	15
問3-2 今後5年間の労働力の需給見通し.....	16
問3-3 現在の雇用形態別の割合.....	17
問3-4 従業員の居住地の割合.....	17
問4 誰もが働きやすい環境の整備.....	18
問5 若い世代の結婚・出産・子育てのための取組.....	20
問6 まちづくりへの参加.....	21
問7 まちづくり参加の具体例.....	25
自由記述.....	28
参考 アンケート調査票.....	29

# 序 アンケート調査の概要

---

## ① アンケート調査の目的

令和4年度からのまちづくりの基本となる「第6次塩竈市長期総合計画」において、令和8年度をもって総合計画の前期基本計画が満了を迎え、後期基本計画を策定するにあたり、企業皆様の現状と今後の戦略、本市へのご意見などを計画に反映させていくため、今回企業アンケートを実施しました。

## ② 調査の対象及び抽出方法

調査対象として、塩釜商工会議所に加入している事業所のうち6名以上の従業員が在籍する市内事業所277社を抽出しました。ただし、金融・医療・任意団体・組合等は対象外としています。

## ③ 調査方法

調査対象事業所へ郵送により調査票を配布し、調査票へ記入して返信いただくか、インターネットにより回答していただきました。（調査・回答期間 令和7年9月10日～30日）

## ④ 回収・集計状況

回収票数は129票、回収率は46.6%でした。

（内訳：調査票96票 回収率34.7%、インターネット33票 回収率11.9%）

# 1. 貴社について

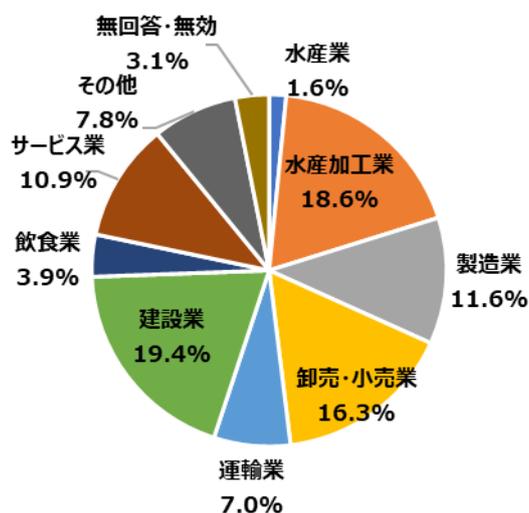
## 問1-1 業種について

貴事業所の業種は何ですか。(1つに〇)

<全体>

建設業が19.4%で最も多くなっています。次いで水産加工業が18.6%、卸売・小売業が約16%となっています。

	項目	回答数	構成比
1	水産業	2	1.6%
2	水産加工業	24	18.6%
3	製造業	15	11.6%
4	卸売・小売業	21	16.3%
5	運輸業	9	7.0%
6	建設業	25	19.4%
7	飲食業	5	3.9%
8	サービス業	14	10.9%
9	その他	10	7.8%
	無回答・無効	4	3.1%
	回答者数合計	129	100.0%



N=129

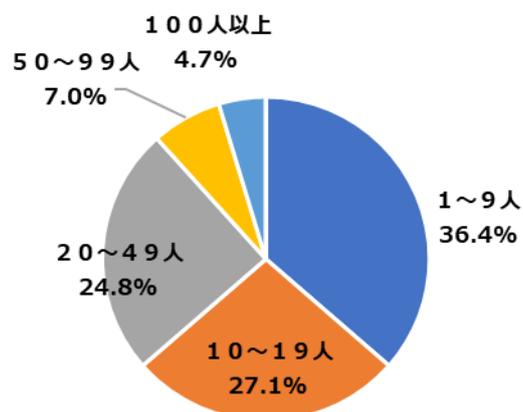
## 問1-2 従業員数について

従業員数は何人ですか。(1つに〇)

<全体>

「1～9人」が約36%で最も多く、次いで「10～19人」が約27%、「20～49人」が約25%となっています。

	項目	回答数	構成比
1	1～9人	47	36.4%
2	10～19人	35	27.1%
3	20～49人	32	24.8%
4	50～99人	9	7.0%
5	100人以上	6	4.7%
	無回答・無効	0	0.0%
	回答者数合計	129	100.0%



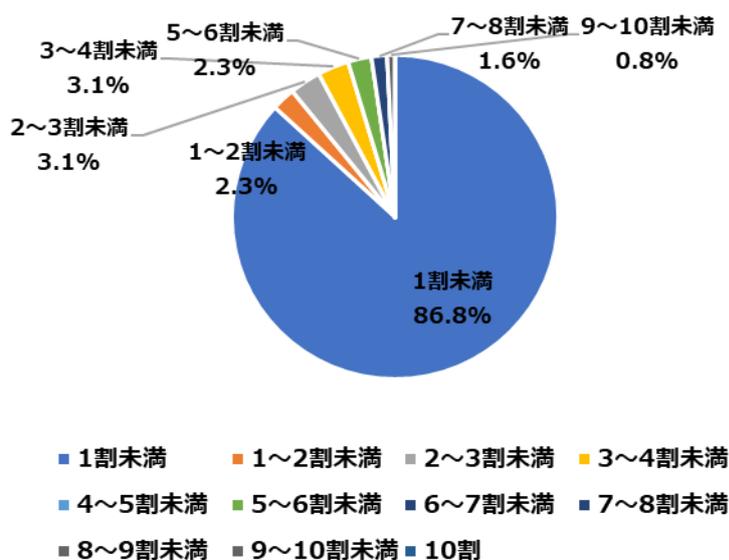
N=129

## 問1-3 外国人就労者の割合

上記のうち、外国人就労者の割合について、どのくらいですか。(数字を記入)

外国人就労者の割合については、「1割未満」が約87%で最も多くなっており、次いで「2～3割未満」「3～4割未満」が約3%となっています。

	項目	回答数	構成比
1	1割未満	112	86.8%
2	1～2割未満	3	2.3%
3	2～3割未満	4	3.1%
4	3～4割未満	4	3.1%
5	4～5割未満	0	0.0%
6	5～6割未満	3	2.3%
7	6～7割未満	0	0.0%
8	7～8割未満	2	1.6%
9	8～9割未満	0	0.0%
10	9～10割未満	1	0.8%
11	10割	0	0.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	回答者数合計	129	100.0%



N=129

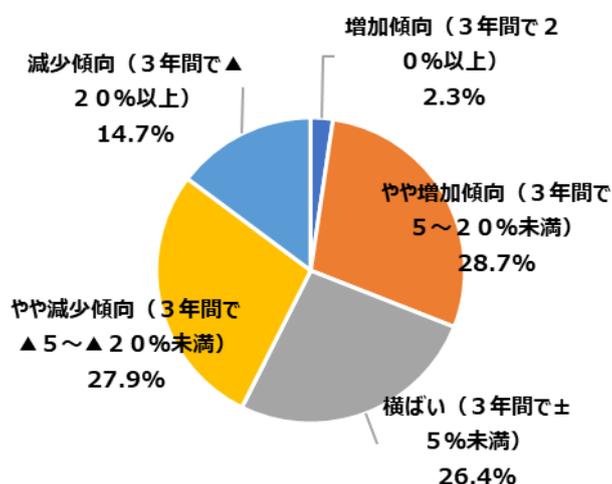
## 問1-4 直近の3年間の売上高の動向

5年前を基準にした場合、直近の3年間の売上高の動向は次のうちどれですか。

### <全体>

売上高の動向について、「やや増加傾向」が約 29%で最も多く、次いで「やや減少傾向」が約 28%、「横ばい」が約 26%となっています。「増加傾向」と「やや増加傾向」を合わせると約 31%、「減少傾向」と「やや減少傾向」を合わせると、約 43%となり、全体的には減少傾向の企業が多いことがうかがえます。また、「やや増加傾向」、「やや減少傾向」、「横ばい」を合わせると約 83%となることから、総じてみると市内企業の直近売上高に大きな変化がみられていない状況となっています。

	項目	回答数	構成比
1	増加傾向(3年間で20%以上)	3	2.3%
2	やや増加傾向(3年間で5~20%未満)	37	28.7%
3	横ばい(3年間で±5%未満)	34	26.4%
4	やや減少傾向(3年間で▲5~▲20%未満)	36	27.9%
5	減少傾向(3年間で▲20%以上)	19	24.7%
	無回答・無効	0	0.0%
	回答者数合計	129	100.0%



N=129

## 問1-5 経営上の課題

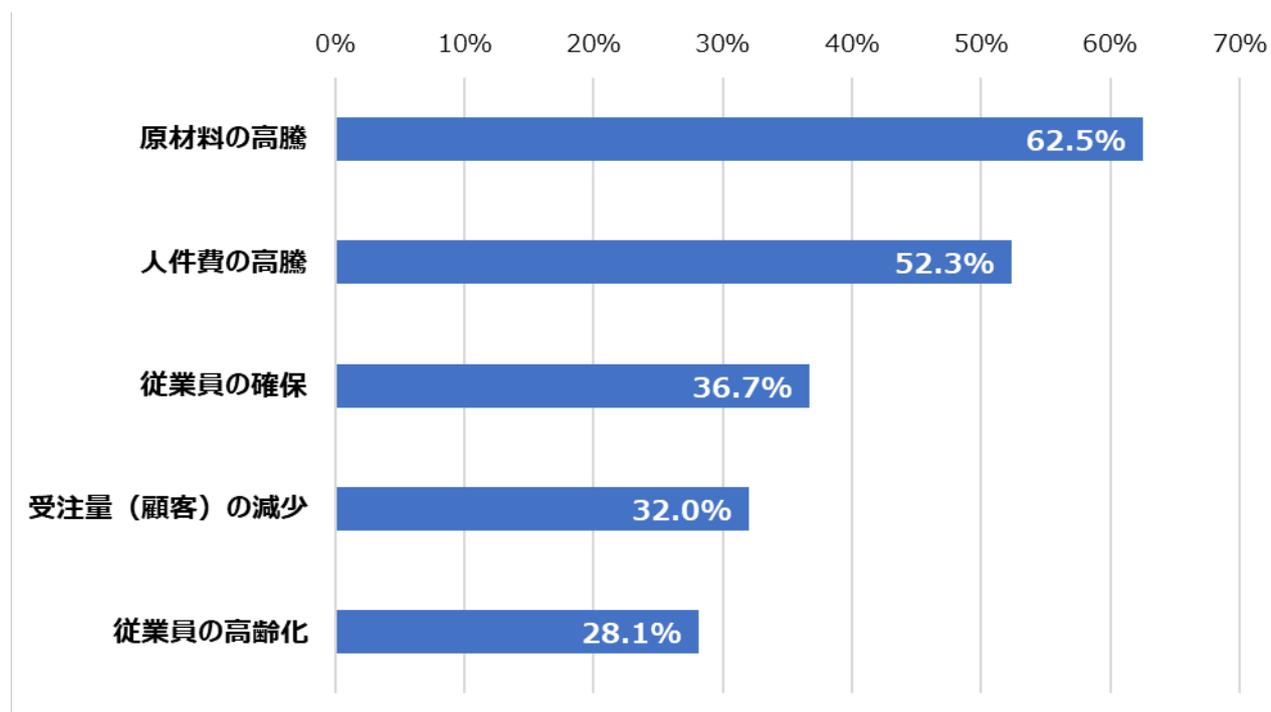
現在の経営上の課題は、次のうちどれですか。（3つまで○）

### <全体>

経営上の課題について、「原材料の高騰」が約63%と最も多くなっており、次いで「人件費の高騰」が約52%、「従業員の確保」が約37%となっています。

	項目	回答数	回答率
1	受注量(顧客)の減少	41	32.0%
2	顧客ニーズの変化	16	12.5%
3	原材料の高騰	80	62.5%
4	人件費の高騰	67	52.3%
5	低価格競争の激化	9	7.0%
6	設備の老朽化	25	19.5%
7	技術革新への対応	6	4.7%
8	資金繰り	17	13.3%
9	後継者不足	7	5.5%
10	従業員の確保	47	36.7%
11	高度技術者の確保	8	6.3%
12	従業員の高齢化	36	28.1%
13	その他	2	1.6%
	回答数合計	361	—

N=128



## 問1-6 地域特性のメリット

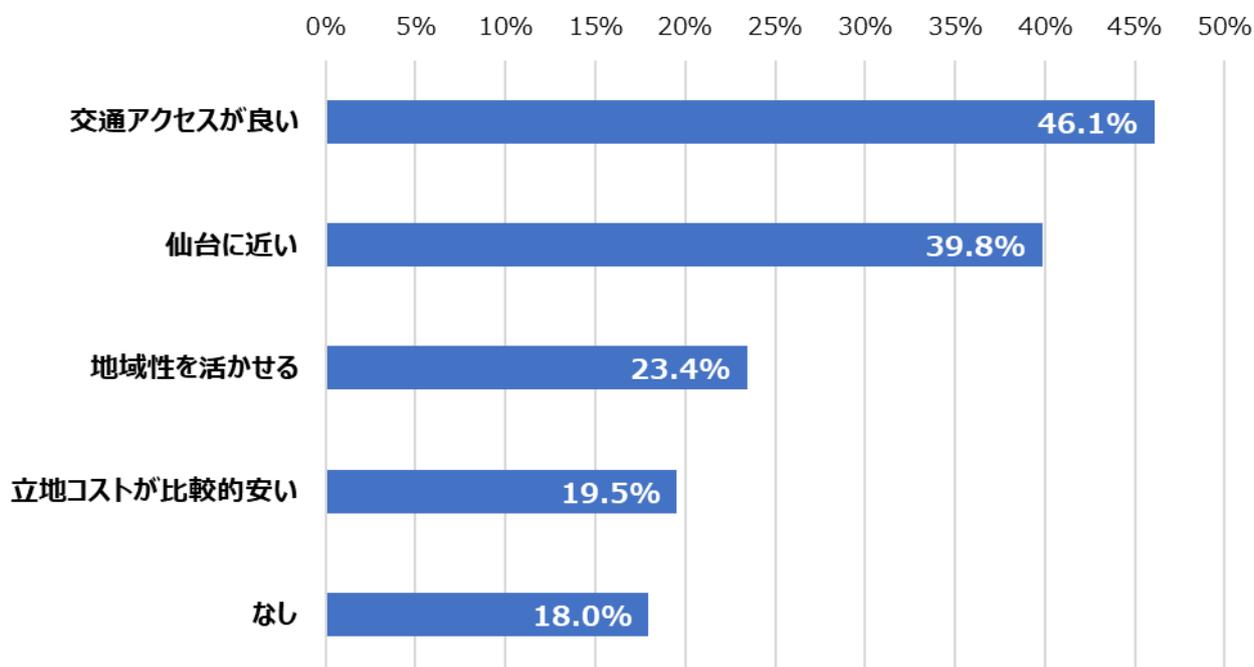
塩竈市内に事業所を構える中で、本市の地域特性として、有利だと感じている点や、今後の地域経済の発展に好影響が期待できる点は何ですか。（3つまで〇）

### <全体>

地域特性のメリットについて、「交通アクセスが良い」が約46%で最も多くなっており、次いで「仙台に近い」が約40%、「地域性を活かせる」が約23%となっています。

	項目	回答数	回答率
1	交通アクセスが良い	59	46.1%
2	仙台に近い	51	39.8%
3	人材が豊富	0	0.0%
4	立地コストが比較的安い	25	19.5%
5	税金・公共料金が安い	0	0.0%
6	市の支援制度が充実している	1	0.8%
7	競合が少ない	13	10.2%
8	地域性を活かせる	30	23.4%
9	従業員の居住環境が良い	9	7.0%
10	地域の協力が得やすい	10	7.8%
11	まちに活気・にぎわいがある	2	1.6%
12	情報通信インフラが整備されている	1	0.8%
13	なし	23	18.0%
14	その他	4	3.1%
	回答数合計	228	—

N=128



## 問1-7 地域特性のデメリット

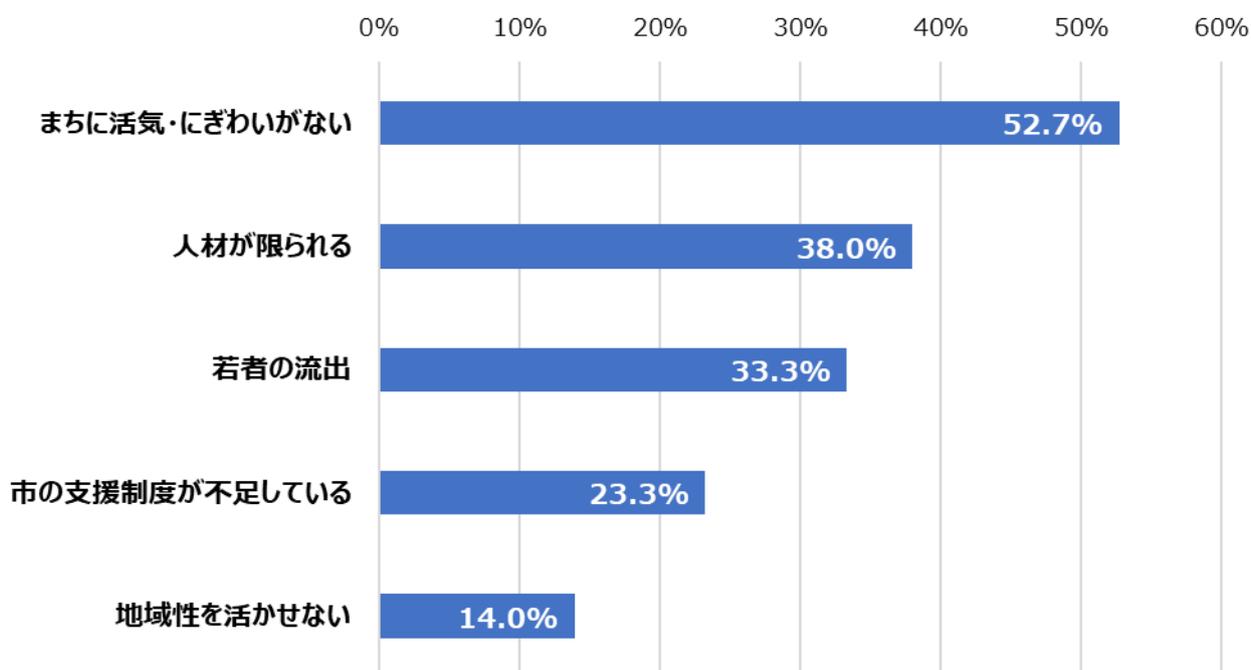
塩竈市に事業所を構えることのデメリット（弱み）は何ですか。

### <全体>

地域特性のデメリットについて、「まちに活気・にぎわいが無い」が約 53%と最も多くなっており、次いで「人材に限られる」が約 38%、「若者の流出」が約 33%となっています。

	項目	回答数	回答率
1	交通アクセスが悪い	6	4.7%
2	若者の流出	43	33.3%
3	人材に限られる	49	38.0%
4	立地コストが比較的高い	7	5.4%
5	税金・公共料金が高い	14	10.9%
6	市の支援制度が不足している	30	23.3%
7	競合が多い	9	7.0%
8	地域性を活かさない	18	14.0%
9	従業員の居住環境が悪い	1	0.8%
10	地域の協力が得られにくい	6	4.7%
11	まちに活気・にぎわいが無い	68	52.7%
12	情報通信インフラの整備が遅れている	5	3.9%
13	なし	13	10.1%
14	その他	7	5.4%
	回答数合計	276	—

N=129



## 2. 地域経済について

### 問2-1 地域経済の活性化について

今後の企業活動において関心のある項目はありますか。

(1) 関心のある項目を全て選び、○をつけてください。

(2) (1) で選んだ項目のうち、特に関心がある項目を3つまで選び、○をつけてください。

#### <全体>

関心のある項目については「若年者の活用」が約60%と最も多くなっており、次いで「女性の活用」が約38%、「働き方改革」が約31%と続いています。

その中でも、特に関心がある項目(3つまで)は、「若年者の活用」が約43%で最も多くなっており、次いで「女性の活用」と「国内の販路拡大」が同率で約17%となっています。

#### (1) 関心のある項目

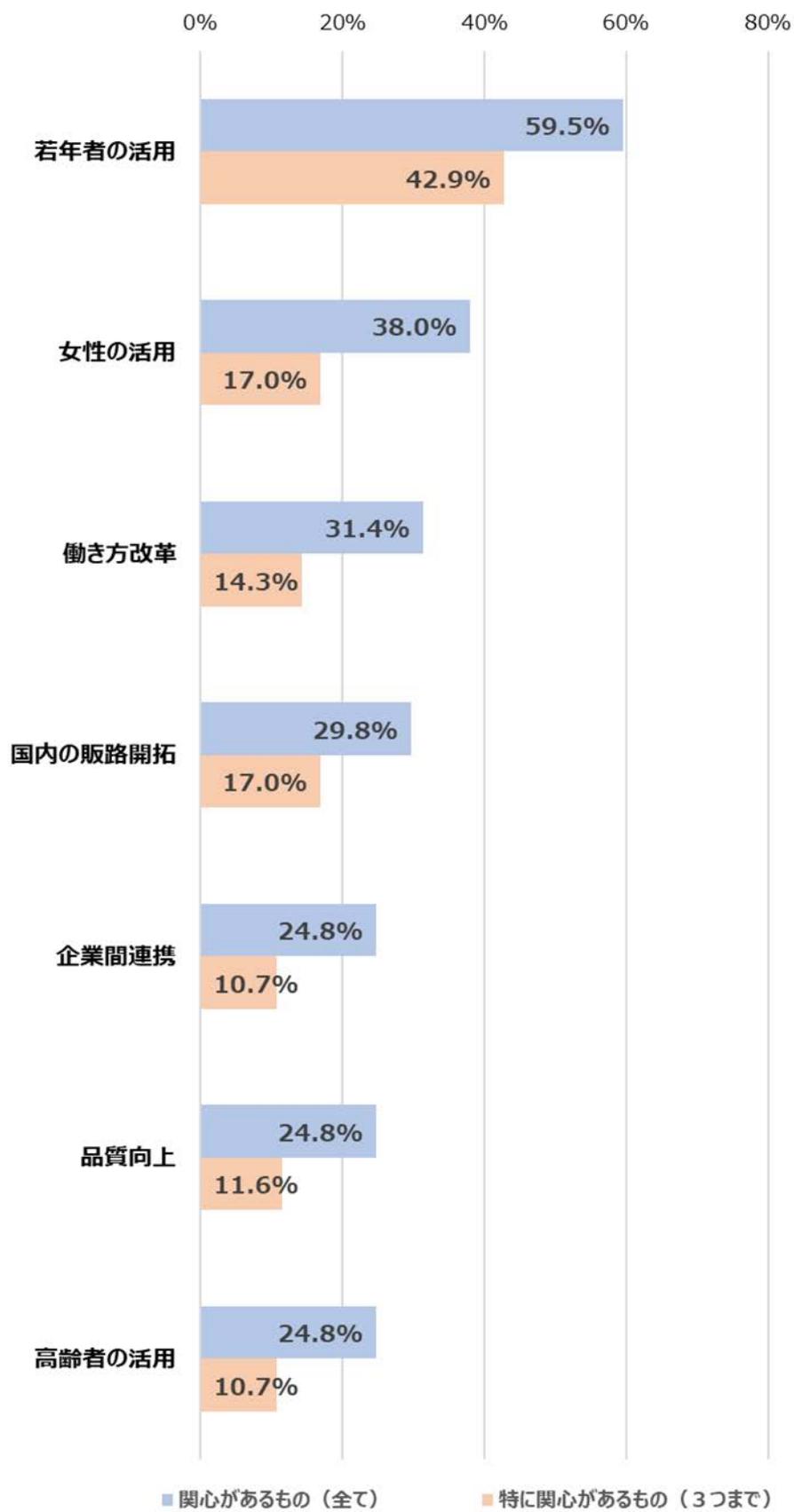
	項目	回答数	回答率
1	若年者の活用	72	59.5%
2	女性の活用	46	38.0%
3	高齢者の活用	30	24.8%
4	外国人の活用	29	24.0%
5	障がい者の活用	10	8.3%
6	U・I・Jターン	13	10.7%
7	働き方改革	38	31.4%
8	事業拡大	29	24.0%
9	事業転換	19	15.7%
10	事業承継	24	19.8%
11	国内の販路開拓	36	29.8%
12	国外の販路開拓	21	17.4%
13	品質向上	30	24.8%
14	技術開発	17	14.0%
15	新商品開発	20	16.5%
16	地域ブランドの確立	26	21.5%
17	6次産業化	2	1.7%
18	アンテナショップ	8	6.6%
19	キャッシュレス	6	5.0%
20	インターネット・SNS	25	20.7%
21	地理的表示保護制度	0	0.0%
22	産学連携	7	5.8%
23	地域間・広域連携	26	21.5%
24	企業間連携	30	24.8%
25	異業種交流	23	19.0%
26	新産業創出	16	13.2%
27	その他	3	2.5%
	回答数合計	606	—

N=121

(2)(1) で選んだ項目のうち、特に関心がある項目

	項目	回答数	回答率
1	若年者の活用	48	42.9%
2	女性の活用	19	17.0%
3	高齢者の活用	12	10.7%
4	外国人の活用	14	12.5%
5	障がい者の活用	4	3.6%
6	U・I・Jターン	6	5.4%
7	働き方改革	16	14.3%
8	事業拡大	16	14.3%
9	事業転換	13	11.6%
10	事業承継	15	13.4%
11	国内の販路開拓	19	17.0%
12	国外の販路開拓	7	6.3%
13	品質向上	13	11.6%
14	技術開発	6	5.4%
15	新商品開発	10	8.9%
16	地域ブランドの確立	9	8.0%
17	6次産業化	0	0.0%
18	アンテナショップ	4	3.6%
19	キャッシュレス	3	2.7%
20	インターネット・SNS	12	10.7%
21	地理的表示保護制度	0	0.0%
22	産学連携	2	1.8%
23	地域間・広域連携	9	8.0%
24	企業間連携	12	10.7%
25	異業種交流	6	5.4%
26	新産業創出	5	4.5%
27	その他	2	1.8%
	回答数合計	282	—

N=112



## 問2-2 行政が取り組むべき分野

産業振興による本市の地方創生を図るうえで、今後行政はどのような分野に取り組むことが重要だと思いますか。

- (1) 重要であると思う分野を全て選び、○をつけてください。  
 (2) (1) で選んだ項目のうち、特に重要であると思う分野を3つまで選び、○をつけてください。また、具体的な意見がありましたら、下欄にご記入ください。

### <全体>

重要だと思う項目について「人材確保・育成への支援」及び「観光客(外国人旅行者含む)の受入環境の整備」が同率で約46%と最も多くなっており、次いで「市全体の美観や景観整備」が約39%となっています。

その中でも、特に重要だと思う項目(3つまで)は、「人材確保・育成への支援」及び「観光客(外国人旅行者含む)の受入環境の整備」が約25%で最も多くなっており、次いで「市全体の美観や景観整備」が約24%となっています。

### (1) 重要であると思う分野

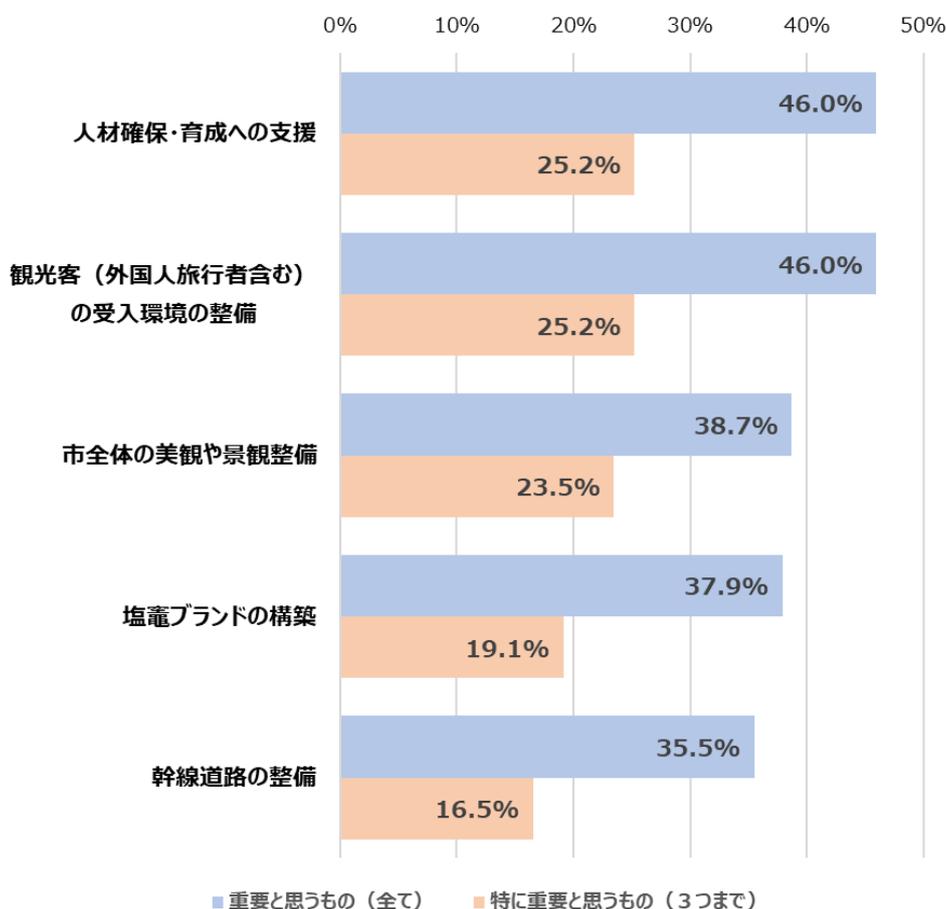
	項目	回答数	回答率
1	幹線道路の整備	44	35.5%
2	物流機能の強化	26	21.0%
3	港湾の整備	33	26.6%
4	市全体の美観や景観整備	48	38.7%
5	公園や緑地の整備	22	17.7%
6	公共交通の整備	25	20.2%
7	駐車場の整備	23	18.5%
8	観光客(外国人旅行者含む)の受入環境の整備	57	46.0%
9	シティセールス・情報発信の強化	32	25.8%
10	シビックプライド(まちへの誇り・愛着)の醸成	27	21.8%
11	企業誘致策の充実	36	29.0%
12	浦戸諸島の振興	19	15.3%
13	融資・保証制度の拡充	41	33.1%
14	新商品・販路開拓などの支援事業の拡充	29	23.4%
15	創業支援制度の拡充	13	10.5%
16	人材確保・育成への支援	57	46.0%
17	塩竈ブランドの構築	47	37.9%
18	外国人就労者に対応した行政サービスの充実	15	12.1%
19	その他	1	0.8%
	回答数合計	606	—

N=124

(2)(1) で選んだ項目のうち、特に重要であると思う分野

	項目	回答数	回答率
1	幹線道路の整備	19	16.5%
2	物流機能の強化	11	9.6%
3	港湾の整備	14	12.2%
4	市全体の美観や景観整備	27	23.5%
5	公園や緑地の整備	6	5.2%
6	公共交通の整備	10	8.7%
7	駐車場の整備	12	10.4%
8	観光客(外国人旅行者含む)の受入環境の整備	29	25.2%
9	シティセールス・情報発信の強化	20	17.4%
10	シビックプライド(まちへの誇り・愛着)の醸成	11	9.6%
11	企業誘致策の充実	20	17.4%
12	浦戸諸島の振興	4	3.5%
13	融資・保証制度の拡充	22	19.1%
14	新商品・販路開拓などの支援事業の拡充	11	9.6%
15	創業支援制度の拡充	6	5.2%
16	人材確保・育成への支援	29	25.2%
17	塩竈ブランドの構築	22	19.1%
18	外国人就労者に対応した行政サービスの充実	11	9.6%
19	その他	1	0.9%
	回答数合計	285	—

N=115



## ■具体的なご意見

「観光施設の整備や門前町地区の魅力向上などによる観光振興」や「外部環境の変化に対する対応の支援」などの意見が寄せられました。

行政の取り組むべき分野についての意見	
1	仲卸は午前中までだし、神社くらいしか観光できる所がない。道の駅や、子供向けの屋内施設があっても良い。BBQするのに市内で使える設備も無い。
2	働く場所を市内に誘致して欲しい。
3	産業構造が変化した現在～将来において、現状のやり方でやっていけるのか疑問がある。気候変動に対する施設の更新や最低賃金・社会保障を加味した人件費を製造価格に転嫁できるか、など。半世紀前と全く違う社会構造でやっている仕事は半世紀前と変わらない、この環境で事業の発展は考えづらいと考えている。行政への要望としては小手先の政策ではなく、中小零細企業がこの社会構造への変化に対応していくお手伝いをお願いしたい。
4	労働条件、最低賃金など大手企業と同じでは！企業規模も考えてほしい。又円安→原料高(輸入魚)それに国内の原料(魚)はまったく少ない。
5	工業用水の支援
6	建築法で新たに住宅を建てられない地域が多く、売りたいくても売れない土地を市が買い取り造成する
7	市中心部に門前町としての趣を作り出すことが重要。本塩釜駅前から神社までを核とした街づくり。例、鎌倉、伊勢お陰横丁などなど。同時に駐車場の整備も必須。神社駐車場が上にしかないため、みな街によらない、寄れない。裏坂昇口の一等地が市の駐車場というのも非常にもったいない。あそこは駐車場兼カフェや土産物などの複合施設にすべき。そうすれば、あそこから本町へも人が流れやすい。
8	事業者や市民に対する補助や支援が2市3町の中で一番薄いわりに、公共料金が高い
9	空き店舗、工場等の活用させて活気をだせれば
10	港湾の整備という項目を設けていながら港湾に関する専門部門が市にないのがまず問題。

※全 10 件の内容

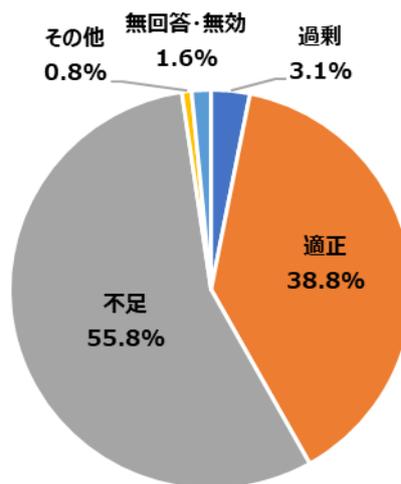
## 問3-1 現在の労働力の過不足状況

現在の労働力の過不足状況はどのように考えていますか。

### <全体>

「不足」が約 56%と最も多く、次いで「適正」が約 39%となっています。本市の企業の労働力については、全体的には「不足」と考える企業が多いことがうかがえます。

	項目	回答数	構成比
1	過剰	4	3.1%
2	適正	50	38.8%
3	不足	72	55.8%
4	その他	1	0.8%
	無回答・無効	2	1.6%
	回答者数合計	129	100.0%



N=129

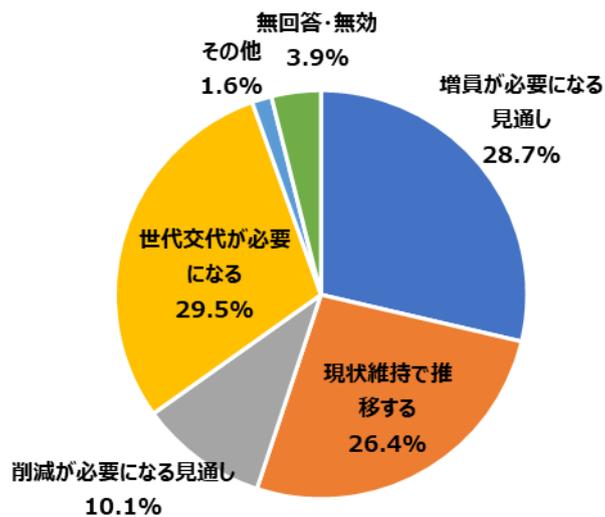
## 問3-2 今後5年間の労働力の需給見通し

今後5年間で労働力の需給見通しは変化すると考えていますか。

<全体>

「世代交代が必要になる」が約30%で最も多く、次いで「増員が必要になる見通し」が約29%、「現状維持で推移する」が約26%、「削減が必要になる見通し」が約10%となっています。

	項目	回答数	構成比
1	増員が必要になる見通し	37	28.7%
2	現状維持で推移する	34	26.4%
3	削減が必要になる見通し	13	10.1%
4	世代交代が必要になる	38	29.5%
5	その他	2	1.6%
	無回答・無効	5	3.9%
	回答者数合計	129	100.0%



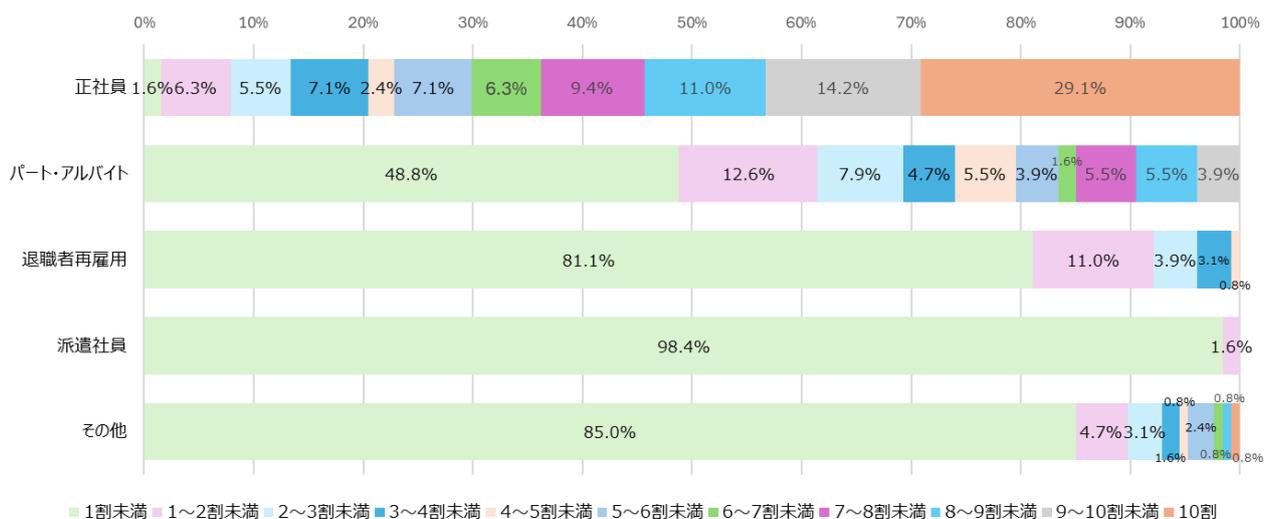
N=129

### 問3-3 現在の雇用形態別の割合

現在の雇用形態別の割合についてどのくらいですか。

現在の雇用形態については、「正社員」が「10割」と答えた企業が約29%で最も多く、次いで多いのが「9割～10割未満」が約14%、「8割～9割未満」が約11%となっており、半数以上の企業が8割以上の従業員を正社員として勤務させています。「パート・アルバイト」で最も多いのは「1割未満」で約49%、次いで「1割～2割未満」の約13%、「2割～3割未満」の約8%となっています。3割未満の従業員を「パート・アルバイト」として雇用している企業が約7割程度あります。退職者再雇用は約81%が「1割未満」となっています。さらに「派遣社員」はほとんどが、「その他」は8割以上が「1割未満」となっています。

	1割未満	1～2割未満	2～3割未満	3～4割未満	4～5割未満	5～6割未満	6～7割未満	7～8割未満	8～9割未満	9～10割未満	10割
正社員	1.6%	6.3%	5.5%	7.1%	2.4%	7.1%	6.3%	9.4%	11.0%	14.2%	29.1%
パート・アルバイト	48.8%	12.6%	7.9%	4.7%	5.5%	3.9%	1.6%	5.5%	5.5%	3.9%	0.0%
退職者再雇用	81.1%	11.0%	3.9%	3.1%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
派遣社員	98.4%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	85.0%	4.7%	3.1%	1.6%	0.8%	2.4%	0.8%	0.0%	0.8%	0.0%	0.8%



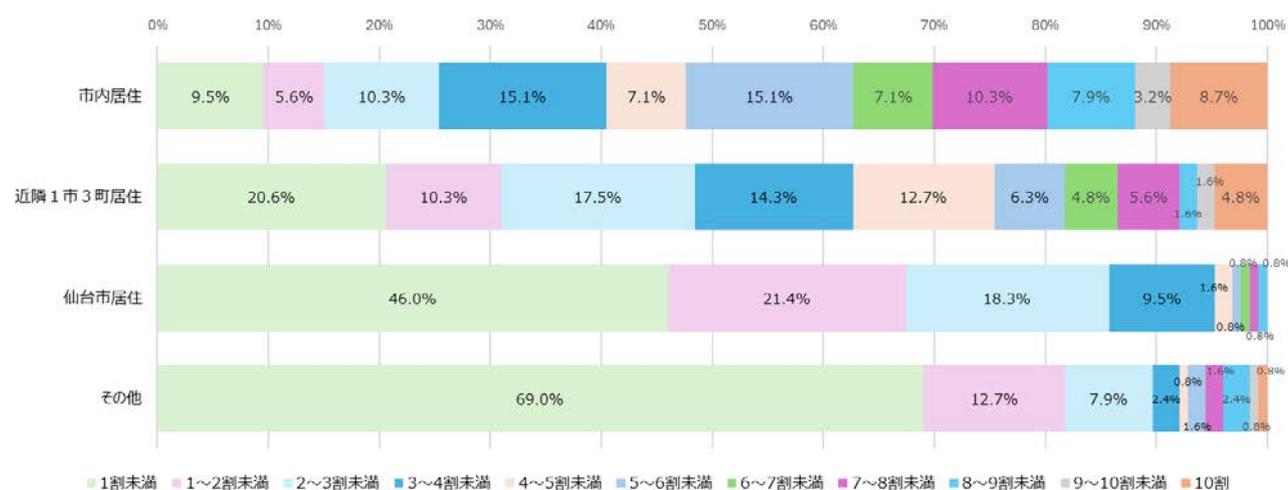
N=127

## 問3-4 従業員の居住地の割合

従業員の方の居住地の割合についてどのくらいですか。

従業員の居住地の割合について、「市内居住」の割合は、各割合で10%前後に分散していますが、最も多いのは「3～4割未満」「5～6割未満」で約15%、次いで「2割～3割未満」「7～8割未満」が約10%となっています。およそ5割強の企業で市内居住者が5割ほど働いていることがうかがえます。また、「近隣1市3町居住」は、最も多いのが「1割未満」で約21%、次いで「2～3割未満」が約18%、「3～4割未満」が約14%となっています。およそ3分の1の企業で「近隣1市3町居住」が2割～4割ほど働いていることがうかがえます。「仙台市居住」、「その他」の居住地から働きに来る従業員がいるのは、「1割未満」あるいは「1割～2割未満」が70%前後となっているので、従業員としては僅かな人数となっています。

	1割未満	1～2割未満	2～3割未満	3～4割未満	4～5割未満	5～6割未満	6～7割未満	7～8割未満	8～9割未満	9～10割未満	10割
市内居住	9.5%	5.6%	10.3%	15.1%	7.1%	15.1%	7.1%	10.3%	7.9%	3.2%	8.7%
近隣1市3町居住	20.6%	10.3%	17.5%	14.3%	12.7%	6.3%	4.8%	5.6%	1.6%	1.6%	4.8%
仙台市居住	46.0%	21.4%	18.3%	9.5%	1.6%	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%	0.0%	0.0%
その他	69.0%	12.7%	7.9%	2.4%	0.8%	1.6%	0.0%	1.6%	2.4%	0.8%	0.8%



N=126

## 問4 誰もが働きやすい環境の整備

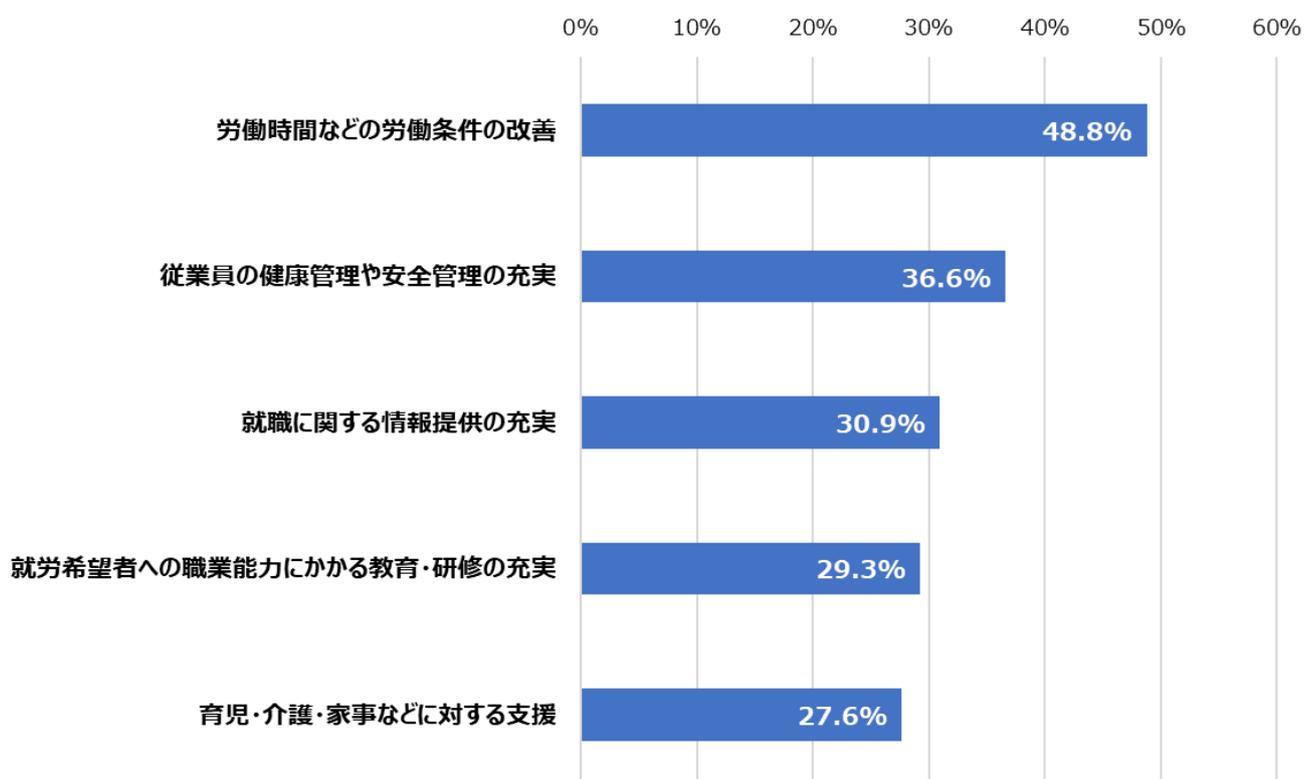
少子高齢化が進展する中で、活力を失わない地域経済を構築していくためには、誰もが働きやすい環境の整備が必要となります。次の項目の中で、特に大切だと思うものを選び、番号に○印をつけてください。

### <全体>

「労働時間などの労働条件の改善」が約 49%で最も多くなっており、次いで「従業員の健康管理や安全管理の充実」が約 37%、「就職に関する情報提供の充実」が約 31%となっています。

	項目	回答数	回答率
1	就労希望者への職業能力にかかる教育・研修の充実	36	29.3%
2	就職に関する情報提供の充実	38	30.9%
3	女性の職業能力にかかる教育・研修の充実や再雇用の普及支援	15	12.2%
4	高齢者の職業能力にかかる教育・研修の充実や定年延長・継続雇用に関する制度の充実	26	21.1%
5	労働時間などの労働条件の改善	60	48.8%
6	省力化機器などの導入による就業環境の整備	30	24.4%
7	育児・介護・家事などに対する支援	34	27.6%
8	従業員の健康管理や安全管理の充実	45	36.6%
9	U・I・Jターンなどの促進	11	8.9%
10	その他	7	5.7%
	回答数合計	302	—

N=123



## 問5 若い世代の結婚・出産・子育てのための取組

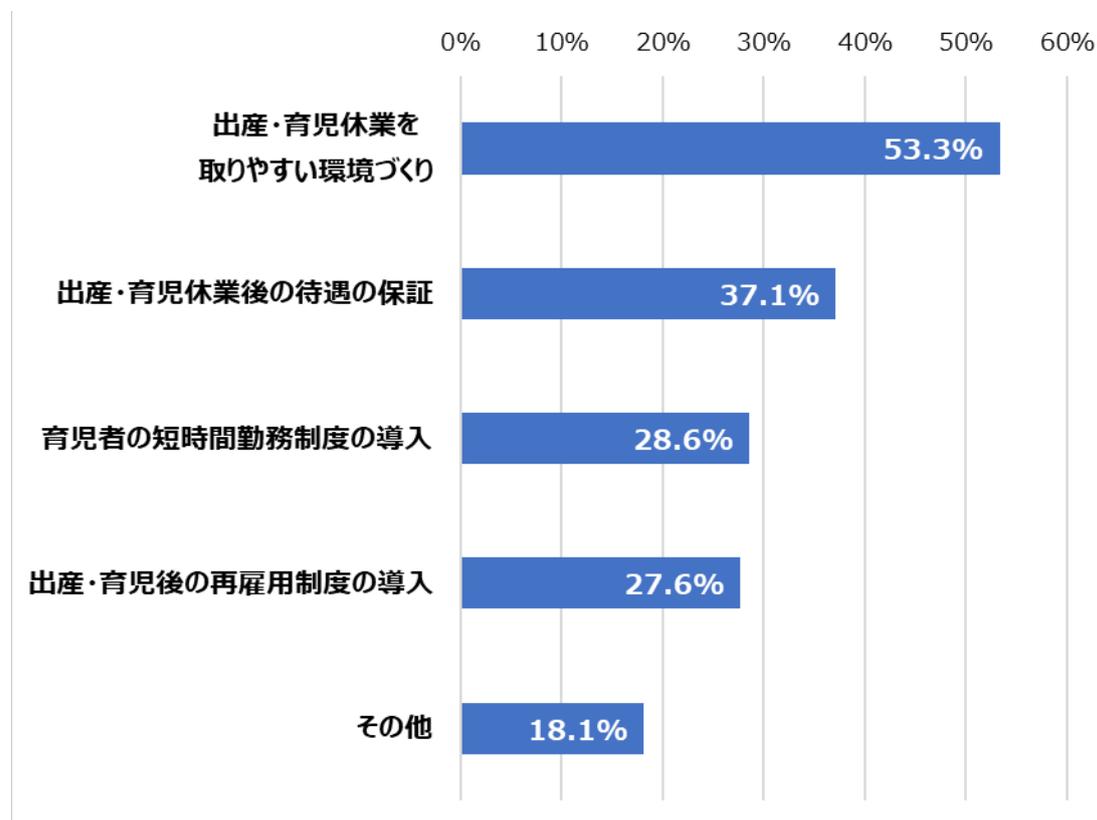
若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるため、実際に取り組んでいることはありますか。当てはまるものを全て選び、番号に○印をつけてください。

### <全体>

「出産・育児休業を取りやすい環境づくり」が約 53%で最も多くなっており、次いで「出産・育児休業後の待遇の保証」が約 37%、「育児者の短時間勤務制度の導入」が約 29%となっています。

	項目	回答数	回答率
1	出産・育児の再雇用制度の導入	29	27.6%
2	出産・育児休業後の待遇の保証	39	37.1%
3	出産・育児休業を取りやすい環境づくり	56	53.3%
4	育児休業者復帰プログラムの整備	7	6.7%
5	事業所内託児施設の設置	3	2.9%
6	在宅勤務・フレックスタイム制度の導入	8	7.6%
7	育児者の短時間勤務制度の導入	30	28.6%
8	子育てに関する費用の助成	11	10.5%
9	その他	19	18.1%
	回答数合計	202	—

N=105



### 3. 今後のまちづくりについて

#### 問6 まちづくりへの参加

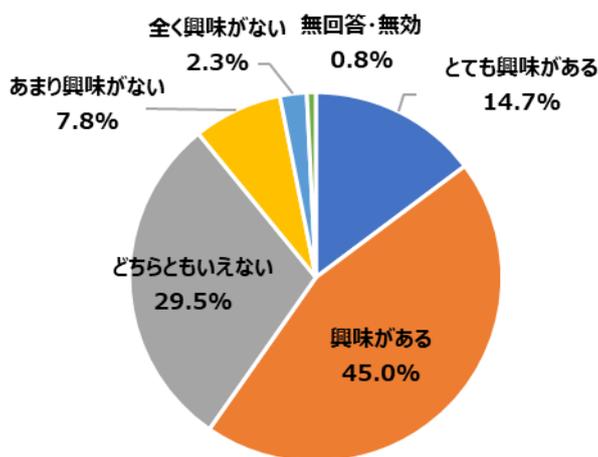
これからの塩竈市のまちづくりに参加することについて、事業者としてのお考えに近いものを選び、番号に○印をつけてください。（1つに○）

【まちづくりへの興味について】

<全体>

まちづくりへの興味について、「興味がある」が約 45%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が約 30%、「とても興味がある」が約 15%となっています。「興味がある」と「とても興味がある」を合わせると、本市の約 60%の企業がまちづくりに対して興味を持っています。

	項目	回答数	構成比
1	とても興味がある	19	14.7%
2	興味がある	58	45.0%
3	どちらともいえない	38	29.5%
4	あまり興味がない	10	7.8%
5	興味がない	3	2.3%
	無回答・無効	1	0.8%
	回答者数合計	129	100.0%

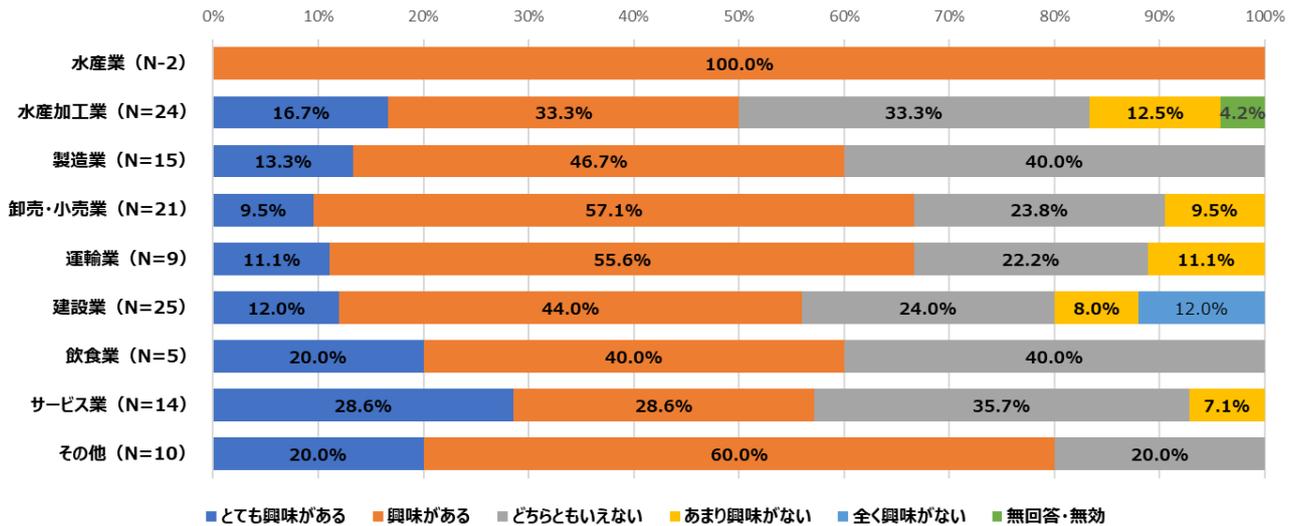


N=129

## <業種別>

業種別では、サービス業で「とても興味がある」が約 29%となっており、興味が高いことがうかがえます。また、水産業では、「興味がある」が 100%、卸売・小売業で約 57%となっています。

	水産業	水産加工業	製造業	卸売・小売業	運輸業	建設業	飲食業	サービス業	その他	無回答・無効
とても興味がある	0.0%	16.7%	13.3%	9.5%	11.1%	12.0%	20.0%	28.6%	20.0%	0.0%
興味がある	100.0%	33.3%	46.7%	57.1%	55.6%	44.0%	40.0%	28.6%	60.0%	25.0%
どちらともいえない	0.0%	33.3%	40.0%	23.8%	22.2%	24.0%	40.0%	35.7%	20.0%	50.0%
あまり興味がない	0.0%	12.5%	0.0%	9.5%	11.1%	8.0%	0.0%	7.1%	0.0%	25.0%
全く興味がない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答・無効	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

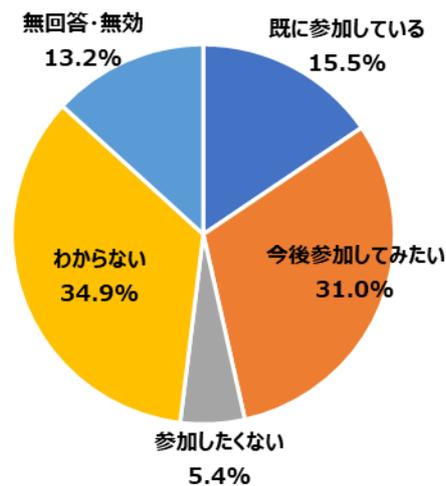


## 【まちづくりへの参加について】

### <全体>

まちづくりへの参加について、「わからない」が約 35%と最も多く、次いで「今後参加してみたい」が約 31%、「既に参加している」が約 16%となっています。「今後参加してみたい」と「既に参加している」を合わせると、本市の約 47%の企業がまちづくりへの参加に興味があることがうかがえます。

	項目	回答数	構成比
1	既に参加している	20	15.5%
2	今後参加してみたい	40	31.0%
3	参加したくない	7	5.4%
4	わからない	45	34.9%
	無回答・無効	17	13.2%
	回答者数合計	129	100.0%

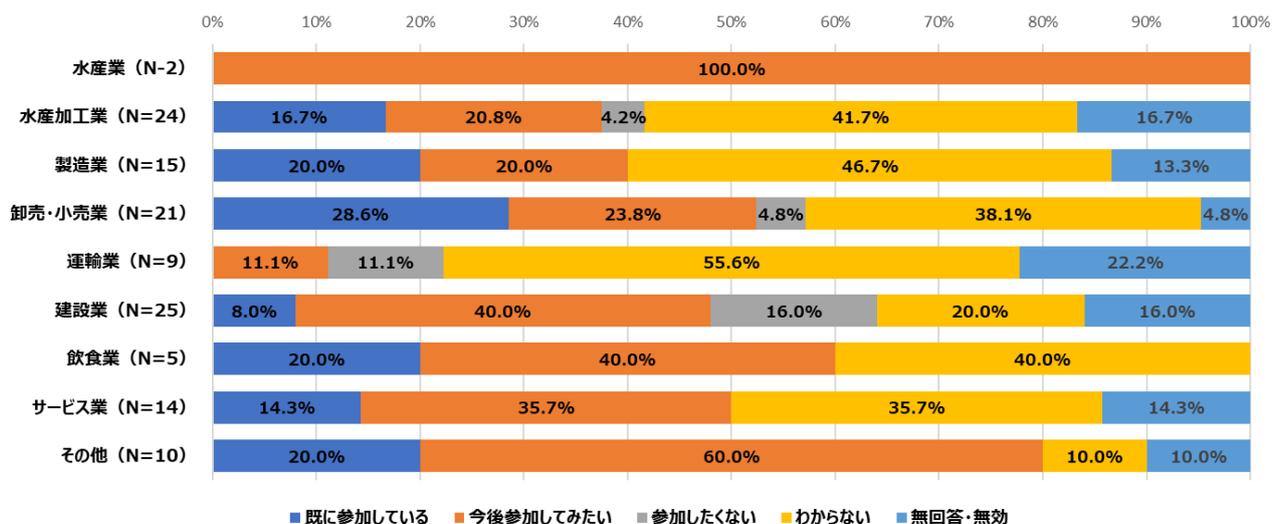


N=129

## <業種別>

業種別では、「既に参加している」が卸売・小売業で約 29%、製造業で約 20%と高くなっています。  
また、水産業では「今後参加してみたい」が 100%となっており、高い関心を持っていることがうかがえます。

	水産業	水産加工業	製造業	卸売・小売業	運輸業	建設業	飲食業	サービス業	その他	無回答・無効
既に参加している	0.0%	16.7%	20.0%	28.6%	0.0%	8.0%	20.0%	14.3%	20.0%	0.0%
今後参加してみたい	100.0%	20.8%	20.0%	23.8%	11.1%	40.0%	40.0%	35.7%	60.0%	25.0%
参加したくない	0.0%	4.2%	0.0%	4.8%	11.1%	16.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	0.0%	41.7%	46.7%	38.1%	55.6%	20.0%	40.0%	35.7%	10.0%	50.0%
無回答・無効	0.0%	16.7%	13.3%	4.8%	22.2%	16.0%	0.0%	14.3%	10.0%	25.0%



## 問7 まちづくり参加の具体例

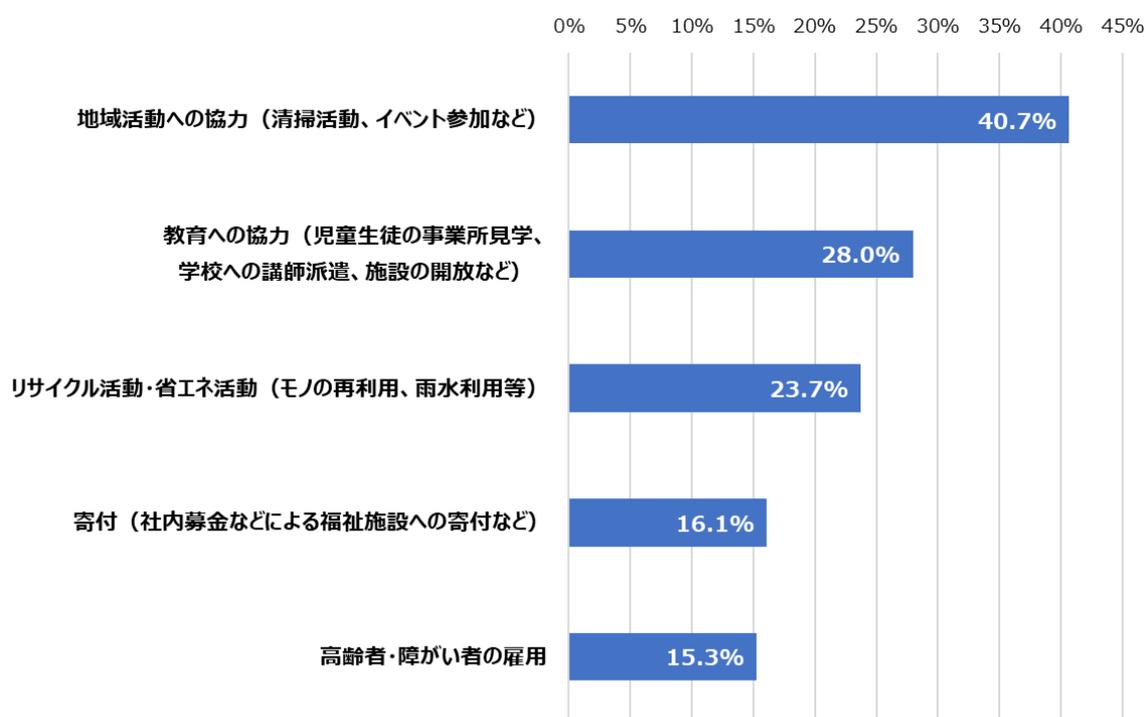
協働によるまちづくりが進んでいます。事業者としてどのようなことであれば、まちづくりに参加できますか。次の中から当てはまるものを選び、番号に○印をつけてください。（3つまで○）

### <全体>

まちづくり参加の具体例として、「地域活動への協力（清掃活動、イベント参加など）」が最も多く、約 41%となっており、次いで「教育への協力（児童生徒の事業所見学、学校への講師派遣、施設の開放など）」が約 28%、「リサイクル活動・省エネ活動（モノの再利用、雨水利用等）」が約 24%となっています。

	項目	回答数	回答率
1	高齢者・障がい者の雇用	18	15.3%
2	福祉施設への支援	17	14.4%
3	地域活動への協力（清掃活動、イベント参加など）	48	40.7%
4	リサイクル活動・省エネ活動（モノの再利用、雨水利用等）	28	23.7%
5	献血への協力	8	6.8%
6	施設の地域への開放	10	8.5%
7	ボランティア団体・NPO等への支援	14	11.9%
8	教育への協力（児童生徒の事業所見学、学校への講師派遣、施設の開放など）	33	28.0%
9	寄付（社内募金などによる福祉施設への寄付など）	19	16.1%
10	その他	12	10.2%
	回答数合計	207	—

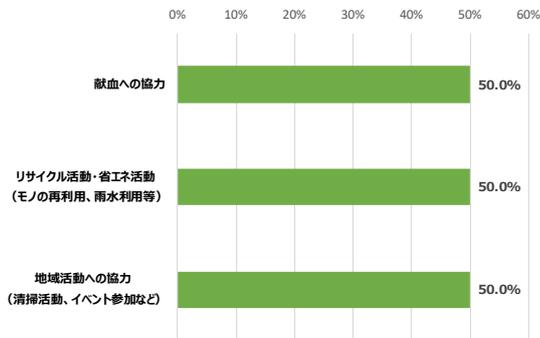
N=118



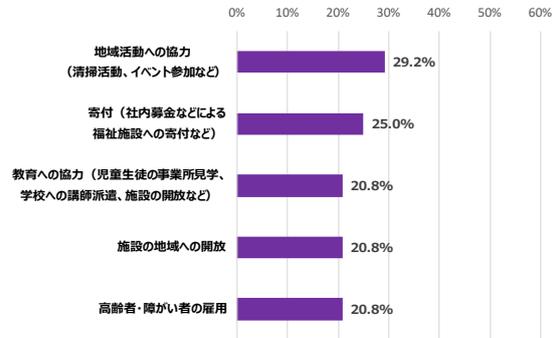
## <業種別>

水産加工業、卸売・小売業、運輸業、建設業、飲食業では「地域活動への協力(清掃活動、イベント参加など)」、製造業、サービス業では「教育への協力(児童生徒の事業所見学、学校への講師派遣、施設の開放など)」が最も多くなっています。

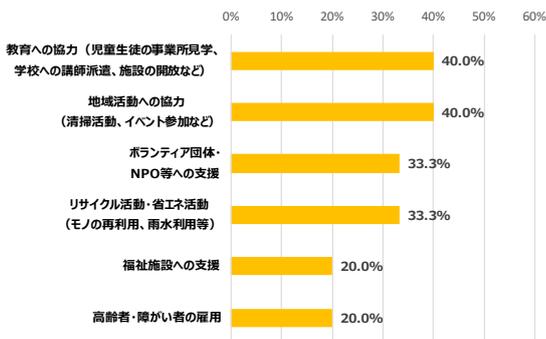
水産業 (N=2)



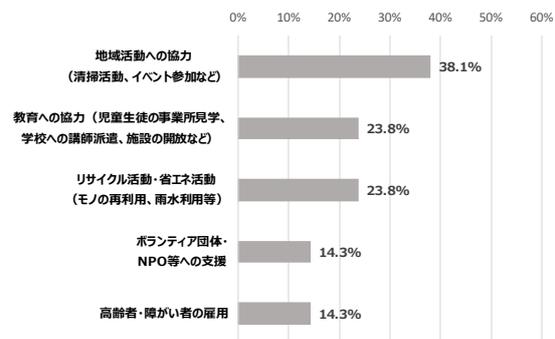
水産加工業 (H=20)



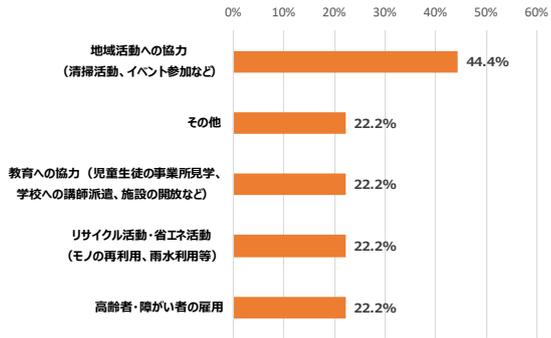
製造業 (N=15)



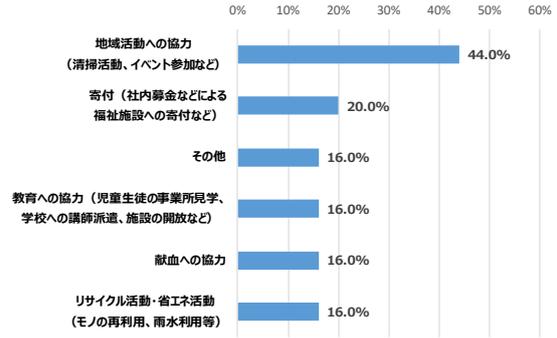
卸売・小売業 (N=19)



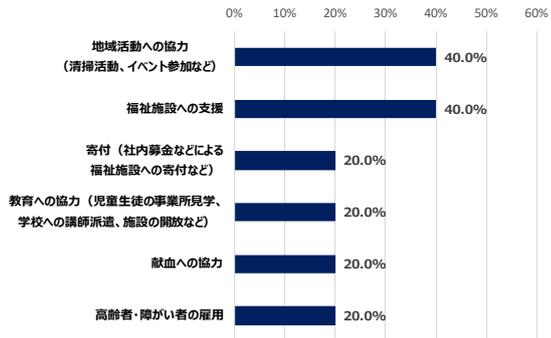
### 運輸業 (N=9)



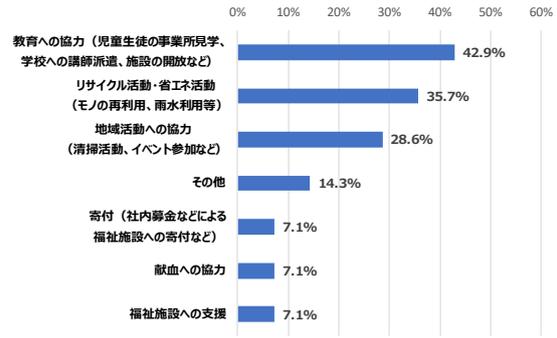
### 建設業 (N=24)



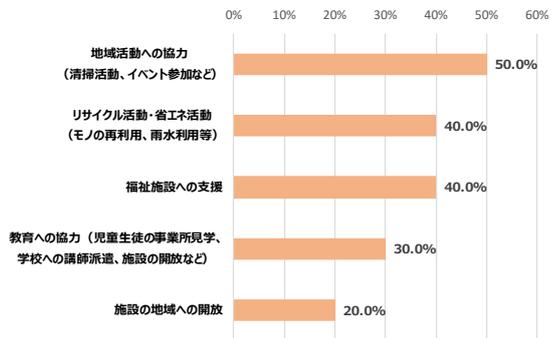
### 飲食業 (N=5)



### サービス業 (N=11)



### その他 (N=10)



## 4. まちづくりについての自由意見

### 自由記述

「門前町地区の更なる活性化」が4件で最も多くなっています。また、「魅力的な地域資源の有効活用」や「交流人口の拡大」、「体験型観光の導入」等、観光振興に基づくまちづくりに対する意見等もいくつか寄せられました。

市政各般に関するご意見	回答数
門前町地区の更なる活性化	4
移住受入促進	2
空家対策の強化	2
魅力的な地域資源の有効活用	2
市政への不満	2
民間企業の意見反映	2
市中心部(本塩釜駅前)の活性化	2
交流人口の拡大	2
仙台圏のネットワーク化	1
子育て支援の充実	1
固定資産税の5年間無料化	1
体験型観光の導入	1
分かりやすい地域マップの作成	1
市役所、市立病院の建替え	1
イベントの充実	1
魚市場周辺の加工団地の整備	1
公用車駐車場の一般開放	1
人材不足への支援強化	1
外国人雇用の支援強化	1
LED化の促進	1
宅地造成の促進	1
塩釜駅の整備促進	1
住宅地の再整備	1

※全 31 件中の各項目一覧



## 2. 地域経済について

### 問2. 地域経済の活性化についておうかがいします。

【問2-1】今後の企業活動において関心のある項目はありますか。

(1) 関心のある項目を全て選び、○をつけてください。

(2) (1) で選んだ項目のうち、特に関心がある項目を3つまで選び、○をつけてください。

	(1) 関心があるもの (複数可)	→	(2) 特に関心があるもの (3つまで)
1. 若年者の活用	1		1
2. 女性の活用	2		2
3. 高齢者の活用	3		3
4. 外国人の活用	4		4
5. 障がい者の活用	5		5
6. U・I・Jターン	6		6
7. 働き方改革	7		7
8. 事業拡大	8		8
9. 業態転換	9		9
10. 事業承継	10		10
11. 国内の販路開拓	11		11
12. 国外の販路開拓	12		12
13. 品質向上	13		13
14. 技術開発	14		14
15. 新商品開発	15		15
16. 地域ブランドの確立	16		16
17. 6次産業化	17		17
18. アンテナショップ	18		18
19. キャッシュレス	19		19
20. インターネット・SNS	20		20
21. 地理的表示保護制度	21		21
22. 産学連携	22		22
23. 地域間・広域連携	23		23
24. 企業間連携	24		24
25. 異業種交流	25		25
26. 新産業創出	26		26
27. その他 (            )	27		27

【問2-2】産業振興を図るうえで、今後行政はどのような分野に取り組むことが重要だと思いますか。

(1) 重要であると思う分野を全て選び、○をつけてください。

(2) (1) で選んだ項目のうち、特に重要であると思う分野を3つまで選び、○をつけてください。また、具体的な意見がありましたら、下欄にご記入ください。

	(1) 重要と思うもの (複数可)	(2) 特に重要と思う もの(3つま で)
1. 幹線道路の整備	1	1
2. 物流機能の強化	2	2
3. 港湾の整備	3	3
4. 市全体の美観や景観整備	4	4
5. 公園や緑地の整備	5	5
6. 公共交通の整備	6	6
7. 駐車場の整備	7	7
8. 観光客(外国人旅行者含む)の受入環境の整備	8	8
9. シティセールス・情報発信の強化	9	9
10. シビックプライド(まちへの誇り・愛着)の醸成	10	10
11. 企業誘致策の充実	11	11
12. 浦戸諸島の振興	12	12
13. 融資・保証制度の拡充	13	13
14. 新商品・販路開拓などの支援事業の拡充	14	14
15. 創業支援制度の拡充	15	15
16. 人材確保・育成への支援	16	16
17. 塩竈ブランドの構築	17	17
18. 外国人就労者に対応した行政サービスの充実	18	18
19. その他( )	19	19

【具体的な意見】


**問3. 地域での雇用についておうかがいします。**

**【問3-1】現在の労働力の過不足状況はどのように考えていますか。（1つに○）**

1. 過剰      2. 適正      3. 不足      4. その他（      ）

**【問3-2】今後5年間で労働力の需給見通しは変化すると考えていますか。（1つに○）**

1. 増員が必要になる見通し      2. 現状維持で推移する      3. 削減が必要になる見通し  
4. 世代交代が必要になる      5. その他（      ）

**【問3-3】現在の雇用形態別の割合についてどのくらいですか。（数字を記入）**

1. 正職員      （      ）割      2. パート・アルバイト（      ）割  
3. 退職者再雇用（      ）割      4. 派遣職員      （      ）割      5. その他（      ）割

**【問3-4】従業員の方の居住地の割合についてどのくらいですか。（数字を記入）**

1. 市内居住      （      ）割      2. 近隣1市3町居住（      ）割  
3. 仙台市居住（      ）割      4. その他      （      ）割

**問4. 誰もが働きやすい環境の整備に何が重要だと思いますか。次の項目の中で、特に大切だと思うものを選び、番号に○印をつけてください。（3つまで○）**

1. 就労希望者への職業能力にかかる教育・研修の充実  
2. 就職に関する情報提供の充実  
3. 女性の職業能力にかかる教育・研修の充実や再雇用の普及支援  
4. 高齢者の職業能力にかかる教育・研修や定年延長・継続雇用に関する制度の充実  
5. 労働時間などの労働条件の改善  
6. 省力化機器などの導入による就業環境の整備  
7. 育児・介護・家事などに対する支援  
8. 従業員の健康管理や安全管理の充実  
9. U・I・Jターンなどの促進  
10. その他（      ）

**問5. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるため、実際に取り組んでいることはありますか。当てはまるものを全て選び、番号に○印をつけてください。**

1. 出産・育児後の再雇用制度の導入      2. 出産・育児休業後の待遇の保証  
3. 出産・育児休業を取りやすい環境づくり      4. 育児休業者復帰プログラムの整備  
5. 事業所内託児施設の設置      6. 在宅勤務・フレックスタイム制度の導入  
7. 育児者の短時間勤務制度の導入      8. 子育てに関する費用の助成  
9. その他（      ）

### 3. 今後のまちづくりについて

問6. これからの塩竈市のまちづくりに参加することについて、事業者としてのお考えに近いものを選び、番号に○印をつけてください。(1つに○)

【まちづくりへの興味について】(1つに○)

1. とても興味がある
2. 興味がある
3. どちらともいえない
4. あまり興味がない
5. 全く興味がない

【まちづくりへの参加について】(1つに○)

1. 既に参加している
2. 今後参加してみたい
3. 参加したくない
4. わからない

問7. 協働によるまちづくりが進んでいますが、事業者としてどのようなことであれば、まちづくりに参加できますか。次の中から当てはまるものを選び、番号に○印をつけてください。(3つまで○)

1. 高齢者・障がい者の雇用
2. 福祉施設への支援
3. 地域活動への協力（清掃活動、イベント参加など）
4. リサイクル活動・省エネ活動（モノの再利用、雨水利用等）
5. 献血への協力
6. 施設の地域への開放
7. ボランティア団体・NPO 等への支援
8. 教育への協力（児童生徒の事業所見学、学校への講師派遣、施設の開放など）
9. 寄付（社内募金などによる福祉施設への寄付など）
10. その他（）

### 4. まちづくりについての自由意見

将来の本市のまちづくりについて、ご要望やご提言をご記入ください。


アンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、  
**9月30日（火）**までにポストへご投函ください。



